

立ち入り規制に注意して密にならない観戦を

東京2020オリンピック自転車競技ロードレースは、男女ともに武蔵野の森公園をスタート。東京都、神奈川県、山梨県、静岡県を通過して富士スピードウェイでフィニッシュする。そのうち東京都内を走るコースを地図と写真で紹介しよう。選手は武蔵野の森公園を出発したあと、東八道路、小金井街道を通り、府中市のけやき並木通りから大國魂神社の境内を抜ける。府中街道へ出て多摩川を渡る是政橋まではパレード走行で、まだレースは始まっていない。多摩川を渡る是政橋がオフィシャルスタート地点となり、ここからメダルに向けた勝負が始まる。

城山通りを抜け南多摩尾根幹線道路（通称・尾根幹）に入った選手たちは、いったん付近の住宅街を抜けてから再び尾根幹へ。美しい並木が続く上之根大通りから多摩中央公園通りを走り抜けて松が谷トンネルをくぐり、多摩ニュータウン通りで南大沢へ。小山内裏トンネルを経て、国道16号バイパスをくぐる坂下交差点の先で東京を抜け、神奈川県へと入っていく。武蔵野の森公園からここまでの距離は約37km、是政橋のオフィシャルスタートからは約27kmとなる。



10 多摩中央公園通り
バルテノン多摩付近

多摩センター駅前から複合文化施設である「バルテノン多摩」や市民のオアシス「多摩中央公園」へと伸びるペDESTリアンデッキをくぐり、多摩ニュータウン通りへ。コースはさらに松が谷トンネルを抜けて、南大沢方面へ続く



9 豊ヶ丘小入口交差点

景観が高度に整備された多摩ニュータウン。モミジバフウの並木が美しい上之根大通り（写真）を抜け、コースは豊ヶ丘小入口交差点を鋭角に左折。ダウンヒルの先の鋭角コーナーは、テクニックの見せどころでもある



11 多摩ニュータウン通り
南大沢付近

大規模ショッピングセンターがある南大沢は、多摩ニュータウンの一部として計画され、新しい住宅地のなかに自然が多く残されている。このあたりは交差点が立体交差になっている部分もあるが、レースはそのアンダーパス部分を通る



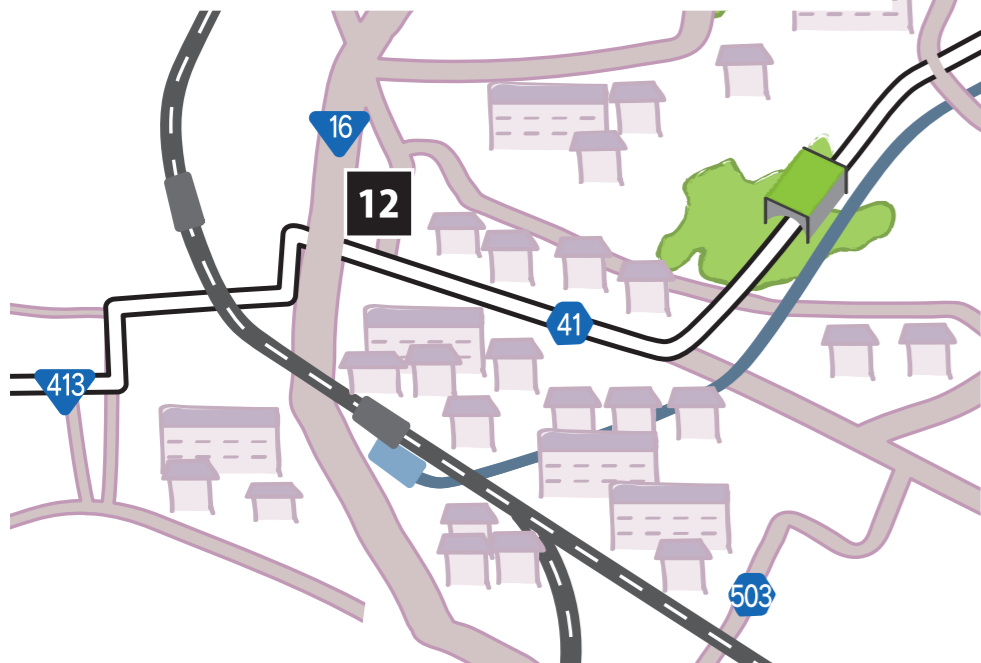
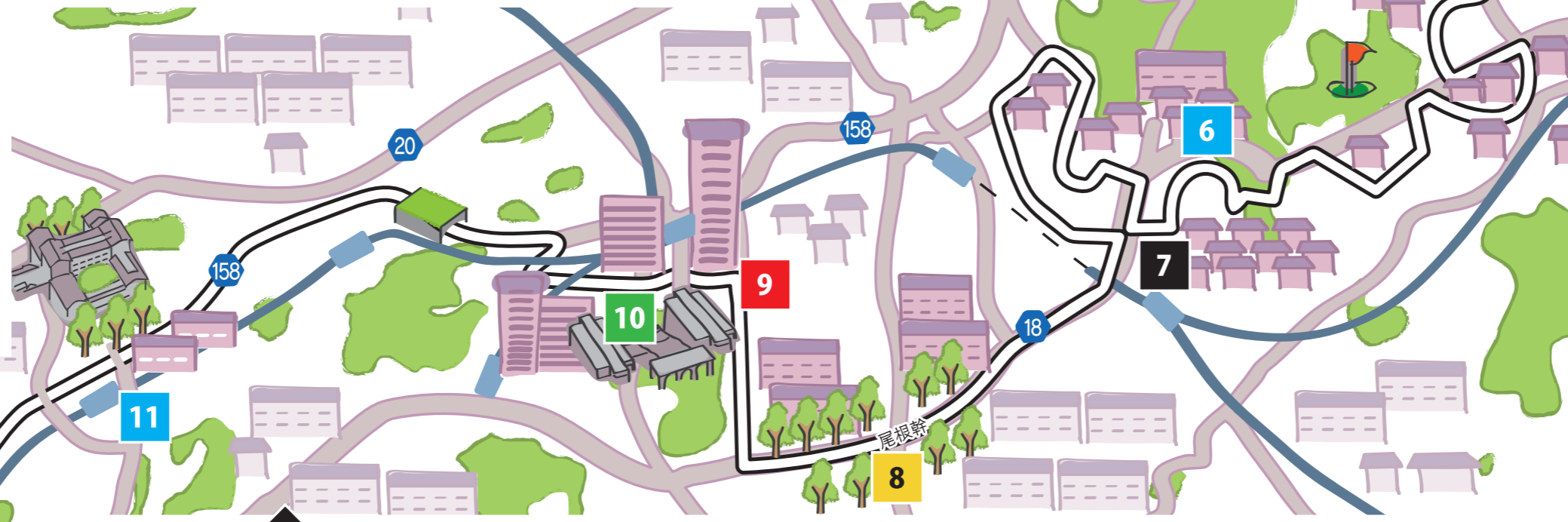
8 尾根幹・多摩東公園～
南豊ヶ丘フィールド前

これを「ザ・尾根幹」という場所を選手が駆け抜ける。反対車線を逆走してきた選手たちは、途中で順行車線へ。このあたりの上りでアタックがかかってくる可能性も。集団は南豊ヶ丘フィールド前交差点から上之根大通りに入っていく



12 国道16号バイパス
坂下交差点

小山内裏トンネルを抜けて多摩ニュータウン入口交差点を右折、コースは町田街道へ。国道16号バイパスをくぐる坂下交差点（写真）の先を左折して一方通行を逆走する形でレースを進め、境川が神奈川県との都県境となる



7 多摩東公園交差点

選手が2回通過する場所として注目されている交差点。写真右手側から尾根幹に入る集団は、交通規制された一方通行を逆走する形で右折。その後、聖ヶ丘・馬引沢エリアを抜け、今度は写真左側から手前方向へと右折して進む



6 若葉台丘の手通り

是政橋から稲城市に入り、いよいよ東京のサイクリストにはおなじみの「尾根幹」に出たと思いきや、コースは稲城の美しい住宅街へと迂回。若葉台エリアでは、電柱のない広い空の下を選手が駆け抜ける



5 是政橋
OFFICIAL START

合成斜張橋と呼ばれる国内でも数少ない橋梁形式で作られた是政橋。美しい斜めケーブルの右手に遠くゴールの富士山を望むこの橋が、オフィシャルスタート地点となる。ここから飛び出してアピールする選手も出るだろう



1 武蔵野の森公園
START

スタート会場となる武蔵野の森公園には本部施設のほか、多くの関係者用テントなどが立ち並び、スタートゲートも設置される。各国のチームカーもスタートを前にして集結、オリンピックレースのスタートにふさわしい雰囲気に



2 野川公園・東八道路

武蔵野の森公園から北に向かい、選手たちは東八道路に出る。野川公園、武蔵野公園、多摩霊園など公園の緑を横目に、集団は自分のコンディションを確かめつつ、走りやすい道をリラックスして走ることになるだろう



3 けやき並木通り

京王線府中駅脇を南北に走る約500mの美しいけやき並木通り。国指定天然記念物に登録されており、府中市のシンボルのひとつとなっている。ここを抜けて、いよいよ選手は集団で大國魂神社へと入っていく



4 大國魂神社

大國魂（おおくにたま）大神を武蔵国の守り神として祀った社。この由緒ある神社の大鳥居をくぐりふだんは自転車走行が許されない参道を走るといって、外国人選手が感激すること間違いなしのシチュエーションが実現する